

平成 29年度（28年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	市民と行政がともに力を発揮できるまち	評価担当	局名	市民政策局
	政策	参画・協働によるコミュニティの再生		課(室)名	市民協働推進室
	施策	参画・協働の推進		電話番号	087-839-2126
	基本事業	協働事業の充実		事業実施主体	市
	事務事業	ボランティア・市民活動推進事業		事業期間	平成 28年度～平成 35年度

【事業全体概要】

事業の概要	本市における市民活動の促進と協働の推進を図るため、高松市協働づくり懇談会による協働推進施策・コミュニティ施策の協議や、協働推進員への人材養成研修を行うなど、多様なパートナーシップによるまちづくりを推進する。		
29年度概要	高松市協働づくり懇談会を開催し、協働推進施策やコミュニティ施策等について、協議を行うとともに、市民からの協働に関する提案等に柔軟に対応できる職員を養成するため、所属担当と地域コミュニティ協議会担当の協働推進員に人材養成研修を実施する。 NPO認証等事務を行う。		
重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の種類	

【事業の目的】

対象（何を）	市内に主たる活動拠点がある市民活動団体等 高松市職員
意図（どのような状態にしたいか）	市民活動の促進と協働の推進を図る。また、研修を通して、職員の協働への意識改革を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
協働推進研修実施回数	回			3	5	5

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29	中期目標 H30
成果指標	協働推進研修受講者数	人	目標値			340	260	260
			実績値			225		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） 協働推進研修受講者数は、一部、地域担当のみを対象とした研修に変更する等の要因により、受講者数が当初の目標を大きく下回ることとなった。 (目標達成度)							(達成度) 66.2% 23点
	成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	H26	H27	H28	H29
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか） (目標達成度)							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	平成 26年度（決算）	平成 27年度（決算）	平成 28年度（決算）	平成 29年度（予算）
トータルコスト	[千円]	7,330	7,645	9,258	9,374
（事業費）	[千円]	687	1,503	2,977	3,093
（職員人件費）	[千円]	6,643	6,142	6,281	6,281

【評価】

評価ランク（A～D）	C	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	改善継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
協働推進員制度の見直しを進める過渡期となり十分な方向性を示せないままの取組となった。NPO認証等事務については、NPO法人の実態把握につながる事務に着手する等事務の拡充を図った。今後は特に、新たな協働推進制度のもと効果的な研修の場づくりが課題となっている。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
協働推進員の人材養成研修の内容について、実効性を高める研修に見直す必要がある。			